

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第14回会議 議事録

会議日	令和7年1月8日	会議時間	18:00	～	19:30
出席者	合計 19 名 (うち委員 10名、事務局 5名、設計業者 4名)				

案件

- (1) 建物配置プランの検討について
 - 【資料1】配置検討
 - 【資料1-2】町側からの確認事項
- (2) 校舎及び通級、体育館、児童館の必要所室の条件整理
 - 【資料2】校舎プラン案

議 事

【開会】

[事務局]/開会のあいさつ。

[委員長]/挨拶

「新年あけましておめでとうございます。本年も雪が多い中ご参加いただきありがとうございます。昨年から引き続き、野辺地の未来を背負って立つ子供たちのための学校について検討していきたいと思しますので皆様どうぞよろしくお願いいたします。」

【案件（1）建物配置プランの検討について】

[委員長]

「それではさっそく本日の案件に入っていきたいと思います。本日最初の案件は前回に引き続き『建物配置プランの検討について』ということになります。前回、皆様で4つのプランを比較しながら意見を出し合った内容をもとに、それらを集約した形の配置プランを作成していただきました。まずは石川設計様の方から、配置プランについて、まとめた内容などを中心にご説明をお願いいたします。」

[石川設計]/資料1説明

「前回の検討委員会にて賛成意見の多かった配置案をベースに修正・改良したものが今回の資料1の配置案になります。こちらの修正・改良点についてご説明いたします。」
・校舎を法面にかからないようにした。・児童館と校舎の位置を離れた。・倉庫の位置をグラウンド南側から校舎に近づけて東側に移動した。・スクールバスの寄り付き位置をメインアプローチ沿いにした。・西側駐車場面積を減らし、メモリアルフォレストの代わりに子供たちの遊びの場となるプレイフィールドを配置した。

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第14回会議 議事録

[委員長]

「ご説明ありがとうございました。続いて、この配置プランについて事務局と町部局で協議を行ったとのことですので、その内容についてご説明をお願いいたします。」

[事務局]/資料 1 - 2 説明

「第13回会議で検討した内容をもとに、町長、副町長、教育長に対し事務局から報告したところ、次回の検討委員会で再度確認を要する事項がいくつか出されましたので、本日はその内容を確認したうえで、配置プランを決定したいと思います。」

確認事項（１） 児童館について

・ 前回会議では新校舎北側での配置でまとまったが、児童館を敷地下側（敷地西側、現体育館の位置）にした場合についても一度確認していただきたい。

・ 追加の条件として

①既存体育館解体後に児童館を建設する場合、仮に別施設（若葉小など）に一時的に機能移転するとなれば、町でスクールバス等を運行することは可能。

②将来的な児童館・放課後児童クラブの利用者数減などを想定し、別の活用の方法も考慮できないか。

③既存体育館解体後の新設の場合は、放課後児童クラブ仮運用に伴う別の施設改修、スクールバス等の追加運行費用、建設時期が既存解体後となることによるさらなる建設単価の高騰など、事業費の増が懸念される。

確認事項（２）プレイフィールドについて

・ 敷地西側駐車場について、常時駐車場として全面使用するわけではないので、スペースを有効活用したい。併設のプレイフィールドを拡張し、野球（競技形式での使用ではなく、あくまで遊びの延長として）ができるようにしてはどうか。行事の際には駐車場として利用できるようにすればよいのではないか。

確認事項（３）メモリアルフォレスト（敷地内樹木）について

メモリアルフォレストは後々の樹木等の管理が大変になってくるのではないか。授業等の際は愛宕公園を活用しながら、メモリアルフォレスト部分のスペースを有効活用できないか。

[委員長]

「ご説明ありがとうございました。検討に入る前にここまでの部分でご質問等ありますでしょうか。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第14回会議 議事録

[委員]

「今回の修正・改良した配置案によるメリット・デメリットをお聞かせ願えますでしょうか。」

[石川設計]

「メリットに関してですが、第13回検討委員会の資料2にあったメリットに加え、デメリットであった児童館の採光が、校舎と距離を離したので確保しやすくなりました。また、校舎が法面にかからないように調整をし、グラウンド用倉庫の配置もグラウンド東側に再配置いたしました。」

「デメリットとしては、同じく前回資料2のデメリットであった児童館周辺に自然な環境を整備できないことや、校舎・体育館・児童館の3つの要素が北側に集中することで駐車場の配分、歩者分離が難しく、死角が増える課題もあります。また新たなデメリットとしては西側駐車場台数が130台想定から80台想定になるといったものもあります。」

[委員長]

「ありがとうございます。他に質問ある方がいらっしゃらないようなので、グループ協議に移りたいと思います。町側の確認事項である資料1-2の内容を踏まえつつ、資料1の配置プランについて今一度皆様で意見交換を行っていただければと思います。また、石川設計様の方からプランと外部の関係についての検討も合わせてしていただければということでしたので、そちらもご検討ください。」

〔グループ協議実施〕

グループA 協議内容

- ・児童館について…北側配置がよい。校舎と同時に供用できるのがメリット。西側に配置では児童館利用者の駐車場が西側駐車場になるので、分けられるのはいいかもしれない。
- ・プレイフィールドについて…プレイフィールドを駐車場にも利用できるお話でしたが天候による影響はあるのか、地面が土なのかそれ以外の素材なのか、土だとしたら風により車への影響があるのではないかと心配される。駐車場と隣接しているため遊んでいる子供の安全面についても検討が必要。
- ・スクールバスの待機場所に屋根などがあってもいいのでは。

グループB 協議内容

- ・児童館について…北側配置がいいのではないかと、校舎と同時共用がよい。児童館利用の際の行き来で、通級教室が近いので少し騒がしくなることもあるのかもしれない。

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第14回会議 議事録

グループC協議内容

・児童館について…北側配置がいい。緑が少ないのは公園が近いのであまり気にならない。児童数が少なくなったときの利用方法を考えるより、今利用する子供たち、保護者のことを考えたほうがいい。もし西側に配置の案では、新校舎竣工後は児童館が完成しておらず、別施設の児童館を利用するとなった場合、移動の際のバス待ちの子供たちの管理はどうするのかという問題もある。

・駐車場について…職員の数を考えると北側の40台では足りないかもしれない。プレイフィールドを狭くし、西側駐車場を広げればそちらに先生方の車も止められる。

・メモリアルフォレストについて…記念植樹など各小学校にある大事な木を愛宕公園に植えるなどは可能かどうか。

出入口（正門）について…現状の配置だと南側から登校する児童たちが駐車場出入口を通る事になり心配である。プレイフィールド南側等に通用口のようなものを設け、プレイフィールドと駐車場の間に通路のようなものを設けたら、登校時も駐車場出入口を渡らなくて済む。プレイフィールドと駐車場も若干離れて遊ぶ時にもいいのではないか。

[委員長]

「皆さまありがとうございました。3つのグループから出た意見をまとめますと、児童館については北側でいいのではないかと。どうしても西側に配置する必要はないのではないかと。という意見が多かったように思われます。プレイフィールドについてですが、どういう地面なのか、雨が降ったら使えないものだとあまりよろしくないのかなと思いました。

安全面のところで行くとグループCから出していた意見でプレイフィールド南側に南門のようなものを作ると西側駐車場の車の出入りを児童が横切らないで済むのかなと思いました。児童館と通級教室や特別支援の心配に関しても児童館と校舎の距離が離れた事である程度緩和されるのではないかと思います。小学校の記念樹等については愛宕公園に移植が可能なのであればと思います。」

【案件（2）校舎及び通級、体育館の必要所室の条件整理】

[委員長]

「次の案件に入っていきたいと思います。次の案件は『校舎及び通級、体育館の必要所室の条件整理』になります。配置プランをもとに、石川設計様の方で校舎内のプラン案を作成いただきましたので、ご説明をお願いいたします。」

[石川設計]/資料2 説明

「各室の細部は今後見ます。今回は配置検討で絡めて以下の要点を検討いただきたいと思います。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第14回会議 議事録

・校舎、体育館の出入り口の置き方について。 ・前回プランだと1階に音楽室、家庭科室を外部との連動性を考え配置していたが、校舎の配置やボリュームを調整した結果、音楽室は2階に移動した形となった。 ・体育館ステージや器具置場の配置について。

[委員長]

「それでは校舎プラン案についてグループ協議を行いたいと思います。出入口、音楽室と家庭科室の配置、体育館の内部配置などについてもそうですが、その他何かこうした方がよいのではなど、なんでもいいので気になったことがありましたらご意見お願いいたします。」

[グループ協議]

グループA協議内容

・出入口について…体育館のところに非常口が2カ所くらいあるとよい。スキー板を運搬できる出入口があればいい。スキー板はおそらく400台くらいになると思われる。
・各室について…家庭科室を2階にあげて普通教室を1階に持ってくると、低学年の1年生が2クラス、2年生が2クラスと並べてあげる形が取れる。生活室は低学年が使うので1階に配置がよい。

グループB協議内容

・各室について…音楽室は1階がよい。楽器の運搬等で体育館に近い方がよい。音の問題で普通教室と近くない方がよい。火事が起きた場合、火元となる可能性の高い理科室や家庭科室を緊急車両の入る場所に近い北側に配置がいいのではないかと。
普通教室と特別支援教室の配置を離さずに交互または近くに配置したほうがよい。距離が離れると生徒同士の気持ちの距離も離れるし、教室間の移動も大変。プレイルームを正方形にしたほうがよいのではないかと。トイレの箇所を集中させず分散させた方がよいのではないかと。

グループC協議内容

・音楽室が2階にある学校はたくさんあるのであまり気にならない。 ・避難の際に2階から階段を使い体育館玄関に避難する場合、スペースが気になる。体育館脇の階段が避難時の経路になると思うが、階段の向きからするとぐるっと回って避難はむずかしいのでは。

[委員長]

「皆様ありがとうございました。一つ確認でしたが、プレイルームを正方形にするという意見の理由についてお聞かせ願えますでしょうか。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第14回会議 議事録

[委員]

「通級教室を指導している先生方の意見を聞くと、色々な運動をする際、三角形だとやりづらいという意見がありました。」

[委員長]

「石川設計様としてはプレイルームの形態は昇降口の開放を確保するためのものだと思いますが、どうでしょうか。」

[石川設計]

「中から外に開けていくそのような意味合いもありますし、空間の使い方を意識した部分もあります。何を置くか、使われ方と、児童の動きはどうかは重要な検討事項です。貴重な意見をありがとうございました。」

[委員長]

「それ以外のところをまとめますと、スキーの出入り口の確保できればよい、音楽室に関しては1階でもいいし2階でもいいという意見、家庭科室も2階でも体育館が近ければいいのではないかと、普通教室と特別支援教室については離すのではなく、混ざって配置する例も増えてきています。悩ましいのが、採光の関係で南側の教室をできればどの教室も使いたいのですが、なかなかそうもいきません。普段使わない特別教室や職員の使用する室などを北側に配置するのがいいのかなと思いました。トイレの配置についてももう一度見直しが必要かもという意見がありました。体育館の出入り口については双方向にあるのでいいのかなという意見や、玄関口を少し広げたほうがいいのかなという意見もありました。」

「本日の案件(1)と(2)について出てきた意見について概ね皆さんと共有できたかと思います。それでは進行を事務局にお返しいたします。」

【閉会】

[事務局]

「皆様、貴重なご意見をありがとうございました。皆様からのご意見を石川設計様と協議し、反映させていきたいと思っております。次回検討委員会日程については、後日調整をいたしまして連絡いたします。本日は皆様お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。」